

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	原発不明がんの検討
	研究目的	原発不明がんは、精査を十分に行っても原発部位が同定されない、転移病変で発見される、稀な疾患群である。標準治療は確立しておらず、その予後は極めて不良であるが、ゲノム医療時代を迎え、原発不明がんの治療は変換点を迎える可能性がある。前ゲノム医療時代における原発不明がんの臨床病理学的特徴を後方視的に解析し、前ゲノム医療時代の原発不明がんの基礎データを構築する。
	研究対象者	2003年～2018年までに当科で原発不明がんと診断された症例
	研究期間	西暦 2019年 8月 21日 ～ 西暦 2022年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	酒井リカ
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液・腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし